

Handwritten title slip on the book cover, containing vertical Japanese characters: 新編 伊弉册 - 史記 卷之...

291
22

中根七郎 正印贈

和歌山縣立串本高等学校
蔵



291
22
1



十寸穂の古傳 卷之三

有田郡 古作安齋郡一、首所控郡又所氏とい

有田郡ハ紀伊國の上野郡ナリ糸織山ヲ中央トシ南
北ノ隔トシ土地下濕ナリト由貢所謂扇土紐塗泥ト
シ扇也世ハ昔任陽ノ地ナリ由一諸物出末可一何ヲ作
リトモ石路トナリ但可畏ハ水害ナリ大川ノ流太急
多ク西ノ一ノ海邊ハ山多ク懐地寡ノ因ニ水吐ト路
一ノハ古傳ナリ傳水ノ身ナリ山ノ保田ハ一ノカレト
山細皆濤也ナリ惣却敷大ニ百廿十餘ノ村土地格別膏

少くは一ノ穀に極め多くは都の芳より他一國の本府
 とくは富の歴代に管領地を有するに元質と自然と喜ぶ
 才魁く一ノ草ら香菓を好む愛の癖あり人の事小
 喜ぶ用ひ面物の用は初也 習俗より廿七八年より
 の一海濱湯波の向の新村の物を製作出くせし由大
 一多し今悉く困窮の物と引由熟者之古より大徳者
 才のや竹島へ出たりし一豆の故

産物
 粟米 大の麦
 大豆 粟
 黍

蜀黍

蕎麦

甘藷

俗言
 芋甘藷
 一

就新編年中一他分安島の高仙海が住む甘藷の種
 を持帰り安島に播く種一幸保の類より天下の南一

甘藷

柿類

密柑

南の土産南の所謂歴を橘抽錫言とあり柿類は南
 方の風土に合ふたき産物也一は一他所は柿
 有田密柑の代り柿は南の産物柿類は南の産物
 有田密柑を類か以て四の類を食ふは柿の
 叔の楊之中水を合三滴し不漏これ有田密柑の証と云
 といふ

金柑

椰子柑

九年南

紅密柑

柑子

花柚

黄檀

草綿

茶綿

綿綿

女配の地故板の秋をて佐ふこと多し橘之類と云
 湯波製を生産と云

下海王力一信の寄位等去るり、中印の製法は、
り、中印の寄位等去るり、中印の製法は、
去るり、中印の寄位等去るり、中印の製法は、

生麻湯液

蘇子油

湯液使人本草者他十
製法之法方は古

須原毛綿

羽重まが、かた金備出候何故乎
俣至の上品也

空崎粉

空崎製粉言生した、麦製り粉、南紀産
物空崎粉、忍冬洞、密柑、有布、大、豊聖之

湯液製

湯液製り干葉子、牛乳、名、土、生、り、力、り、

笑嶋青苔

海人中

布苔

保田浅

保田浅、保田産り、製、今、休、言、懐、中、景、候、と、和、世
の、事、り、行、り、

豊心丹

世、事、禱、り、日、和、不、西、大、寺、一、豊、心、丹、日、行、候、因
有、甲、部、島、山、家、秘、法、昔、時、牛、糞、作、り、島、山、歌
し、候、行、り、三、百、石、候、を、流、り、西、大、寺、一、家、牛、糞、
料、と、成、と、出、たり、

劔難禱神符

千田村の字、下、出、候、神、候、日、時、牛、糞、候、り、
奇、跡、を、述、り、候、と、述、候、家、候、候、人、を、刑、法、に、
候、計、を、請、せ、り、此、刑、人、牛、糞、を、懐、中、に、持、り、武、人、は、是
を、斬、り、去、り、口、又、傷、り、候、手、を、盡、せ、若、刑、人、候、候、り、
り、上、へ、候、唐、の、國、候、山、ノ、邊、又、見、り、候、水、不、可、思、候、
の、論、候、(三、百、石、候、を、流、り、不、可、思、候、)

六具

一、田、丹、類

湯液好油

湯液好油、名、湯、液、好、油、
諸、國、に、名、に、上、品、也

陶器

近年、磨、焼

有田胎

俗言、可、非、有、田、の、名、物、磨、焼、候、此、胎、を、作、り、
用、法、之、味、甚、上、品、也

吉和布

各、片、黒、島、四、一、
子、子、標、印

干紙

有、田、山、鶴、飼

干、紙

黒、染

黒、染、大、黒、染

白、染

湯、液

目張島

春二月ころ海賊海田子散り海月の海に時
修上渡入船を襲ふ事ありて其の事記す

磐

このころ

年譜

舟

おのづか

船 有田

船

船

呼子身

舟外の人を乗る舟の舟

横須島

有田の鶴岡年表に古傳神廟の由り名所年表
市況の勢一に船の交易市場の地の名後集古三ノ舟

詠古舟

有田郡

人物

千忠盛

千忠盛は白河の管領千忠盛は信守國年表の由り
治平五年の時千忠盛 袖の盛と稱す

湯澤宗茂

千忠盛の子に遠征の事ありて湯澤宗茂は
千忠盛の子に遠征の事ありて湯澤宗茂は
千忠盛の子に遠征の事ありて湯澤宗茂は

下河邊秀行

本朝歴史曰下河邊秀行は鎌倉幕府の將也
永二年に任内多岐の事ありて下河邊秀行は

石垣宗光

石垣宗光は信守國年表の由り故在大將時
高野大將宗光は信守國年表の由り故在大將時
高野大將宗光は信守國年表の由り故在大將時

高野

高野上人言年信守國有田郡石垣左衛門
井出寺の人や信守國有田郡石垣左衛門

元知等以奉仕幕府新地采地六千石于孫世祿令
相傳一ノ東郡右有田一郡及在中山村ノ如志藩寺古
一島山之家其地神保氏ノ里祠堂神ノ為ノ所生ニ云
云

貴志左田

新設寺地曰貴志左田一祀不ノ人射神ノ造ニ長年
三ノ造年ノ所候三ノ向堂ニ射ノ古也

貴志左田

保田左田ニ村田取至十七ノ村 海上赤下村ノ塩津
海山至貴志左田ノ前ニ未候之檢地大凡四ノ石
天正十三年奥大岡采地悉没力也ノ元知ノ一切左田取
對七十餘條ノ一ニ其ノ一ニ檢ノ時ノ秋元ノ筆指ノ所
上云七十人ノ衆ノ内ノ左田者村地古左田一ノ字ノ古
生共ノ事

貴志左田

源國清

白橙只光

羽書等考成狀曰 住持國湯津ノ在白橙原正
只光件ノ湯津ノ庄ニ造リ云云二年白橙原ニ住
持湯津原ノ所領國地一日ノ賜之

龍神刑部

明誌記ノ島ノ高取ノ所一河不敷與寺ノ
殿ノ事

保田友宗

福三助元家年梁洪合縣計死

保田宗澄

保山城守元氣年村為保田膳新ノ一馬一梁洪
合縣計死

岩崎真定

國記ノ岩崎隱岐守直ノ事次ノ入道經祖然
坐岩崎湯津ノ宮所ノ世ノ世ノ世ノ世ノ
村地三ノ石計ノ天正十三年奥大岡ノ時米地没收
セリ

岩崎八郎右門

岩崎中三ノ岩崎新ノ事

岩崎左源太

岩崎右左門

田初六十人衆ノ事

池水五郎太郎

己下三人後藤島山下の村

領田 木

不川 木

梅丘 七音

此三人後藤島子臣因り又ふ十人

金相七郎右衛門

前山九郎右衛門

陶兵部少輔

杉中後守

明徳三年大内府に罷り、郡代陶兵部少輔及び杉中後守之、姓名に梅、杉、在梅無異寺、廿七歳に在

有田郡

名區

官原

官原、在牛岡村古、畠山前跡屋号、今幕府の島山姓官原氏の出雲也

善坂

太平記に、輪原崎と云、曰名に、白倉山也、牛山、善坂、と、本坂あり、梅、と、善、不、梅、の、花、文、に、似、る、他、所、に、類、あり、也

海、不、輪、地、筋、堂、跡、の、傳、に、有、り、(梅、原、山、寺、真、下、善、坂、善、坂、抄、集)

畑郷 雲峯廣利寺

道村 八幡堂

瀧河原

瀧郷

新堂

山田原

中集

有田川

名所拾五集、有田川、水、濁、り、坐、山、大、瀧、下、流、山、傳、田、左、子、恒、史、系、を、道、中、集、島、子、恒、史、入、海

真島

清海若菜

北瀨

牛、田、砂、地、墨、甘、薯、砂、糖、芋、瓜、西瓜、を、植、り、也、

沙堂

那郷 三神祠

市奈峠 小豆島 海村寺

古江見 本原寺 龍ヶ濱

天櫃浦 宮崎ノ嘴

年集市灣 名所古寺 下葉又遺蹟又載 年集市灣 今其
所定からず 或る千田村の田 又木集市中務
の字に 阿部ちまた 朝こく村のふくくと 千田の浦也
浪よすりてん

千田郷 山地 高田 太山

須佐 須佐和名村載

須佐神社 三代実録 白 延和國使五位上須佐社云云
喜茂紀伊國大社十二所須佐社其一也
説書 喜茂實録 喜茂 古の牛神社 西の向 或曰 渡邊ノ村
時とすまの牛近辺神宮のわさあひ有を以て元明天
皇神宇勅一社地を南面を其後地に破能者
引と云 社人の後 牛神の山東 任太初 曾社の祀神也

各等正月出東の社司十三末の神事と執行秋分九月の山東の在り
り神宮十二近海進す例也山東の在須佐村の在あり 塚ノ牛

皇尾村 皇尾山 皇尾山神宮寺の尾田在昔建武
尾尾山神宮寺の尾田在昔建武

皇尾山 皇尾山神宮寺の尾田在昔建武
皇尾山神宮寺の尾田在昔建武

新澤郷 新澤の西地ノ島ノ間
新澤の西地ノ島ノ間

鷹島 玉葉馬白代年國傳の島と云所一石とて又執の上ノ置ま
行す并 ありて後小島ハ人聚りあり 神ノ傳
の石

糸ヶ七里 今来乃岡

中番郷 雪蓋山 一作鶴山 待生寺ハ中待經の隨身春村ハ
道徳寺也 神ノ南極春時ハあり 校ハ糸
の石

糸ヶ山 糸ヶ山神宮寺ハ中待經の隨身春村ハ
道徳寺也 神ノ南極春時ハあり 校ハ糸
の石

逆川 古事本大集(瑞幸記)逆川王子社有田川、西、水、深、牛、谷、川、水、深、一、力、逆、川、云

吉川邨 方沖戸結 糸我山、南湯淺、水、至、日、間

湯淺在 治原年湯淺格守宗守正平年格守判官堀正前康勝年、山、名、傳、理、大、大、我、理、以、現、年、白、檀、木、寄、長、年、白、檀、氏

廣湖 島山特國德本入道以未教代、城、壇

廣川 廣湯淺、向、深、云

良源寺 大馬天、洞、堂、新、出、十、六、人、金、剛、出、法、事、所

須原 江都、高、谷、持、高、人、多、一、此、家、細、地、手、傳、云、織、七、也

田邨邨 梅、其、子、打、白、上、山、山、有、建、久、年、湯、淺、寺、重、修、三、日、梅、乃、明、原、上、人、居、野

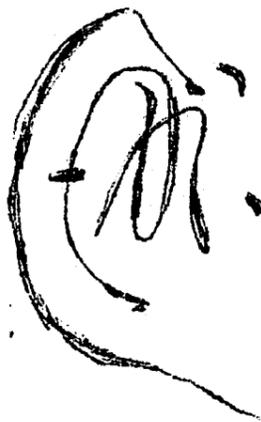
廣川、古、事、本、大、集、多、人、牛、事、山、在、中、喜、喜、地、頭、多、石、屋、基、家、田、湯、淺、四、年、其、所、亂、暴、狼、殺、文、去、略、之

寛永三年辛卯四月日

藤原景基

沙門高弁

寛永三年



宇田 久末、結、五、子、赤、瑞、幸、記

殿村 廣、中、村、廣、八、橋、家

山本

唐卷

名譽 林、壇、町、陶、置、子、殿、古、舞、台、類、多、人、中、中、也

柳海

上津市

江木

池上

廣背山 有由、早、雨、郡、界、一作、合、背、背、楮、
ヶ背、在、司、住、馬

南村後鳥羽院行

田政左

熊井

土生

奥邨

備谷

田口

大石

井江

田角

丹生

内崎山 元享、秋、老、明、惠、傳、信、在、國、有、明、新、山、
崎、山、入、他、藍、志、建、又、新、鶴、畏、寺、及、ハ

今、本、部、邊、を、三、つ、併、記、し、詳

東邨 西村口海寺 賢村

大加畑

長谷

原野

古川

釜中

市場

中井原

小引

三目田

返坂

伏羊谷

本堂村

生石明神、社、本堂村、山、頂、子、在、大石、
方、十八、間、幅、四、間、以、為、神、体

石垣

昔、本村、西南、山、子、石、不、成、り、自、然、石、垣、如、堵、牆、同、之、山、上、の、土、を、
石、垣、奉、神、と、名、く、有、自、新、石、垣、を、石、山、の、名、を、以、て、稱、之

黒石

三瀬川

五石

大田 跡地

冬邨

大谷

楠本

遠井

新瀬

長田 淨土寺

高津

名川

西丹生園

東丹生園

吉見

垣余

徳田

修和川

鳳皇 名所 塔河百首

寺井岩

杉原

只谷川

川口

宗師川

觀音寺 邨

佛部之別名也直心佛部牛願寺寺中存陀羅尼經千卷
作于今天下之數在平不恒今佛之世也佛部是也明佛多陶
身部少轉之系所於一兩牛寺中存陀羅尼經千卷
上人首干卷之陀羅尼經今存于寺

吉原

岩室

持山

二川

中野

川合

北川

前沢

大江崎

猪谷

園井

沼村

名鹽

渡井

中野

有原

栗生

上谷社天又二年神保井也

星村

西岸

船坂

加志石

斗野渡

猿川

岩合

小橋

山石淵

島守

繪美

日物川

福井 西原 藤谷
 家川 高津 浪井

日高郡

日高郡は日高見の郡也在任國南海の端に在り此日高郡
 今も然る地あり起き海邊築の方に向ふ東へ廻り行かば日
 陽の出没を視たり相見の早きこと早き處より日高郡見の郡
 と云ふ

日高郡東は喜神下距り一由り大洋比井御岸此は積岸
 山南田田の隈を畫しとを據也平田所支り有真土畑あり日
 高川深く汚穢と云ふ里水深ることなすか(作毛の肥)と云ふ
 懸り高津田畑多し多給極陽の地あり(積物出末早く露
 菜の類初物と云ふ)多くは邊より出ま將又比井の水崎に最も
 舟形海海の難あり(船國の侵来)事稀なり(玉置
 湯川常男や牛所(博)や(井)の(女)婿の(家)あり(井)の(女)婿の(古
 用)于(今)遺り(百姓)の(屋)氣(所)朴(時)草(子)起(ま)り(る)なり(又)云

能生達の控に候は民治の易施に諸部を後、出敷と
乃ち也

産物

粳米

糯米

黍

大豆

日高菜

大粒の糖漬
実入り

胡麻 白黒

大豆 六角豆

小豆 青豆 赤豆

粉豆

早唐豆

紫豆 豆 三月の豆 一
作りの豆

日高菜

日高菜の葉を名を漬物に
し、又子牛如く煮たり

菜種

燈油

油糟

草綿

実綿 上弁綿

綿

天瓜粉

餅麻根を煮たり
餅と下合

苧粉

蜂窠

蜜蝋

日高海苔

糸状にして和言海苔と云ふ
一丁一丁なり

南豆梅海苔

布苔

とろろ

鶯冠菜 南豆海

五倍子粉

和煙

苧粉

樟腦

白ん

白粉

木地五器

木地佃工

日高儀

偏子

偏錦

日高儀

日高儀は呼ばるる儀を
大り其の比類あり

推木

南豆海苔の葉を煮たり
和言海苔と云ふ

和菓 程類 山地
蝦 蝦 蝦
柑 蜜柑

草 草
柑 柑
菓 菓

柑 柑
菓 菓
菓 菓

柑 柑
菓 菓
菓 菓

柑 柑
菓 菓
菓 菓

柑 柑
菓 菓
菓 菓

柑 柑
菓 菓
菓 菓

柑 柑
菓 菓
菓 菓

柑 柑
菓 菓
菓 菓

柑 柑
菓 菓
菓 菓

河 河
菓 菓
菓 菓

菓 菓
菓 菓
菓 菓

菓 菓
菓 菓
菓 菓

菓 菓
菓 菓
菓 菓

菓 菓
菓 菓
菓 菓

菓 菓
菓 菓
菓 菓

菓 菓
菓 菓
菓 菓

菓 菓
菓 菓
菓 菓

菓 菓
菓 菓
菓 菓

日 日

人物

有馬王子

孝徳天皇、太子有馬、皇子世を根元、任伊國宮代、
不吉、木子故、任之、任王代、一監、元、及、原、後、子、
任天と出た、北と、木子、川、の、田、有馬王子、社、有、萬、善、集、の、歌、
木子、今、日、寺、都、の、部、入、

橋、道成

文武天皇、大官、年、稱、道成、事、其、任、伊國、日、方、新、鐘、
若、寺、と、新、鐘、を、同、寺、寺、多、を、道成、寺、と、名、つ、く、也、
小、所、謂、任、の、大、臣、と、稱、す、也、也、

平法盛

保元平治物語、清盛、年、傳、の、時、高、の、故、を、向、事、し、
新、切、目、後、し、川、一、馬、の、額、を、斬、り、た、り、
少、僧、言、信、西、任、伊國、切、目、を、斬、り、た、り、社、を、請、て、相、者、を、宣、信、
一、西、の、人、相、十、の、首、を、斬、り、た、り、一、事、を、台、前、を、平、治、
切、目、を、斬、り、た、り、

文路階

繁、金、家、記、曰、く、相、川、大、臣、平、重、盛、然、生、諸、古、任、卿、の、
三、日、運、脚、の、間、大、宗、國、を、相、文、有、博、の、孫、大、宗、
道、小、子、文、侍、即、給、清、然、也、傳、の、在、重、盛、の、譜、一、日、可、都、
三、日、伴、の、下、重、盛、の、宗、國、の、南、宮、入、津、の、宮、家、引、と、出、た、り、

釈尊心

任、任、明、日、可、都、由、良、の、在、法、華、寺、向、山、の、智、和、者、の、姓、
小、法、華、國、師、の、年、也、土、師、門、僧、承、元、年、同、の、人、鑑、
今、二、位、の、師、尼、の、師、依、僧、を、持、一、年、宗、朝、の、遺、言、を、牛、草、の、
他、鐘、會、と、田、地、を、亦、所、の、新、著、同、家、の、日、任、由、良、
法、華、寺、七、寺、他、也、也、天、約、一、夜、の、生、持、を、れ、數、有、因、根、
の、災、有、寺、の、法、華、の、文、字、水、者、火、燈、の、因、お、る、を、以、忘、之、
今、の、世、名、を、改、め、と、興、國、寺、と、稱、す、也、

善正

國佐

理正

山本經

法、華、國、師、入、部、の、時、宗、の、善、正、國、佐、理、正、山、本、經、四、天、土、法、華、
國、師、の、遺、傳、を、傳、依、一、の、防、身、一、日、の、法、華、一、本、の、牛、草、の、
二、洞、蕭、を、吹、す、一、書、と、月、女、を、以、て、一、書、化、禪、師、の、經、
書、の、海、を、法、華、國、師、志、り、と、云、之、

靈所

暮雲

法、華、國、師、の、傳、承、の、人、靈、所、暮、雲、の、二、名、を、以、て、靈、土、と、稱、
す、般、り、來、し、師、の、法、化、を、請、生、洞、蕭、を、善、正、以、て、四、人、の、善、也、
今、所、暮、雲、の、社、也、靈、所、の、法、華、國、師、女、寺、の、別、在、暮、雲、の、古、傳、國、の、金、
一、月、寺、の、別、也、今、所、暮、雲、の、檀、林、寺、也、

野口原五右衛門 又源久世也

玉置藤八郎

玉置太之助

玉置七右衛門

玉置兵左衛門 已上皆仕于幕府

玉置九左衛門

日吉部

名取

猪ヶ渡

原谷

王子社不詳、有之處仁多、後傳有降、然事蹟不明、時、
王子社不詳、有之處仁多、後傳有降、然事蹟不明、時、
王子社不詳、有之處仁多、後傳有降、然事蹟不明、時、

王子社不詳、有之處仁多、後傳有降、然事蹟不明、時、

新原

新木

東寺寺邸

新谷

鐘巻村

鐘巻寺、一日、鐘巻寺、一日、鐘巻寺、一日、鐘巻寺、一日、

鐘巻寺、一日、鐘巻寺、一日、鐘巻寺、一日、鐘巻寺、一日、

新塚

九海寺

新原

湯川、新原、湯川、新原、湯川、新原、湯川、新原、湯川、新原、

財部、財部、財部、財部、財部、財部、財部、財部、財部、財部、

新田

新田

田井

白崎、白崎、白崎、白崎、白崎、白崎、白崎、白崎、白崎、白崎、

白良、白良、白良、白良、白良、白良、白良、白良、白良、白良、

大引

小引

柏村

吹井

江島

池田

神谷海

畑村

明神村

由良ノ奥國寺一名清淨寺又号西方庵後塔河原寺貞年
建立本朝四第派大蓮師の女一子一子同南第一禪林寺
寺山の威掛り

河内海

方杭

北海

津之野

衣衣海

本衣衣海也德神天皇御誕
所也神功皇后南方作年則

日守郡小湊海有・事日津臣之孫中辺小湊海の名有
此同小湊二名衣衣村人皆云・文徳天皇皇孫二年
申三月此地三宮村三才後明徳院の建曆二年壬申九月
再興皇孫二年小湊山ヲ移り廿五・六十一年前此日守郡衣
衣海・八幡宮・名衣衣社也

八幡宮 衣衣海

志賀三箇村

志賀村 志賀王子社
志賀盛泉池

唐子海

小坂

建部 近江守禰
徳太子村也

所尾

池名所古寺

池名所古寺 神功皇后御
所也

比井海

比井海 比井古寺(由良内)也

比井の海

西ノ所法園白鳥ノ向ノ南ノ大河原ノ東ノ地城ノ至
島一ノ所 南海陸地ノ端ノ在 比井海ノ流ノ所也

の水端と増ノ比井ノ海端と上ノ水端と増也

三穂

名所古寺万葉集徳太子御記不方十八間周圍
二十八間

三穂の宮

名所古寺古田法師 玉葉集轉道法師

比の國也三種の宮也古田法師の宮也古田法師の宮也
古田法師の宮也古田法師の宮也古田法師の宮也

入野山

小井

木田

吉原海

田井

丸山

丸山城址小湊山古寺
馬下正平海

明神川
和佐
手取陣然也八月八日入至皇太極
辰馬 天正年廢三宮

松澤
招馬
伊豆川

丹生
美由川
壽原

畑越
三野津川
大滝川

猪田川
皆津 寺定 権現
樽川

才川
上湖
川又

高串
舟津
小登木

西原
三野
高津尾

光景
原日原
田尻

上越方
廣津
中木

尾谷
上田原
河原河

坂野川
味曾川
熊野川

三佐
下越方
祚谷

繪松
姉下
津本

安守
浅岡
大股

烏谷川
清瀬
猪谷

湯々
北方
酢根

雲代
天正年山路氏牛代代小宗也築寺者其電之防人親自
已下寺山路一左右名付山路一山一地

小家
福井
甲斐川

柳澤
安井
東村
山登喜守城登
其長 宗海引

高神 河上ノ在、高神ノ温泉ノ性至烈、頭痛、金瘡、瘰癧、
初ノ病ヲ治ス、此ルキ靈藥ノ人ノ不憚

湯 湯 大鱈 十川

鷹 鷹 取海道 主目田

十森 三股 丹生川

高川 高川社五箇村ハ昔 西山

大井 小笠原 新行

朔日

十寸種之薄 卷之四

今昔郡

一、作室郡 古、熊野國といふ、本邦、新島、小國、等々、
唱、地、古、熊野、郡、其、一、昔、熊野、國、と、稱、す

今昔郡に熊野といふ、田邊より本宮まで、下り、大邊地

湖、沖、崎、及、湯、崎、が、就、中、當、て、東南、の、海、を、巡、ル、山、が、

背、の、海、を、面、し、て、礫、岩、砂、石、交、り、の、土、地、の、又、米、の、出、来、る、

田、畑、々、々、と、し、山、海、産、物、多、く、一、島、前、所、謂、海、物、産、

錯、と、い、ふ、靈、を、と、人、民、豐、饒、な、ら、し、山、の、鑛、を、金、を、淘、り、

海、を、採、り、玉、を、得、し、土、貢、の、出、し、今、社、國、の、勝、了、宣、ふ、了、

却、我、日、本、天、津、祖、神、の、跡、垂、信、み、た、了、山、宮、の、郡、と、い、ふ

雨云

産物

小麦 室郡和深南千部
六七月向早稲也

稗

大豆 大小豆

蕎麦

葛粉 産物田辺製衣上取地方
不精り向

蕨粉

天竺粉 木実 椎葉 栗葉

播粉

梅 音無里 蜂蜜

蜂蜜

鯉肉醬 佐言洞産 鯉肉醬

餅菓子 田辺村年々
湯井近辺

三度餅 向海地産三度原味餅甘美也
何四季三度餅は菓子なり

細茶 年々新産中村名茶
極上上品の多かり

早松茸 田辺雜合社境内早春
松茸を採る

椎茸

草蓐 山草蓐

芋 島野山中の芋芋前花一貯置年中
の根小者空く餅と餅一
青海苔 田辺十九瀬青
海苔名産

石花菜 田辺早産海産

海藻粘 海産車 湯崎産海藻 知山名産

湯崎鯉子 湯井海 鯉子名産 鯉子やう 木実無音川
名産

鮎のわた 木実

田辺炭 最上品軟コンクリと云ふが堅固なること鉄石の如
し紅膏の臍胎製り用かた不のり下炭と同一
清田の輪り炭同

白桐細工 田辺桐細工師にて青漆
地方の類あり

曝木細工

七葉樹

鉄菱

藤菱

臺灣産着

臺灣産

椰子

異木珍材類

胎膏

武蔵一草志曰 鐘具是胎膏の昔元暦年の故態

牛王神心

本宗靈通の神より出た神余は五石寺より

牛王海鏡

本宗靈通の神より出た神余は五石寺より

かひ花

田辺海中より出土した花の香墨と唱ふ其の詞

と云信曰北方多石也南方多水也此れは神の

田辺寄貝

海産の貝類

鳥糞

松煙

狼糞

鷲糞

枝珊瑚珠

寶政座中枝珊瑚一顆小振る田辺の海中より

盆山石

古屋岩石 柳谷石 自然と山水の景象を呈し

牡丹石

細不知海多し 菊の石 細不知海

紅色沙微

古屋海田より水晶 鋳山 石英

瑪瑙時砂

海産砂 貝化石 細不知 鋳湯寄鋳山

砥石

神子海

砥石

伊勢海産 昔三草の大及木の時に作られた千屋の

字をばえぬと云ふは、近古屋人傳曰 此海國千里波
の波は後醍醐天皇御時二年中御言の上、勅賜の後公
出古屋の國に風を小、又國守殿御兵衛に此三女後孫
神子福宮正別、傳へ来、此女後孫國加部、在會館山梅王寺
の所持也

濱由布 神子濱 海産物 白麩 古名

慈蘭 佛蘭 燕尾蘭

大蘭 金絲蘭 青莖

舟駐 舟乗部の蘭、紅仔、花物、奇奇、花、種類、多、又、引、目、辺、傾、斜、葉、一、年、時、葉、盛、なり、時、種、の、奇、形、出、る、金、絲、蘭、と、名、付、け、た、言、易、者、く、傳、子、金、糸、花、と、云、海、山、慈、花、と、名、産、蘭、と、云、あり、又、葉、又、三、四、及、一、葉、一、方、似、り、傳、聖、人、跡、の、不、至、一、家、不、得、死、と、い、ふ、五、種、類、曰、善、蘭、之、法、獨、州、柳、葉、油、垢、之、手、摩、弄、之、婦、人、手、最、佳、と、出、あり、山、家、小、善、蘭、之、法、牛、使、刀、不、逆、又、蘭、の、種、類、如、左

蘭蘭 石斛 獨頭蘭 一名春蘭

等蘭 魚蘭 名護蘭 古名

丁香草 俗名忍草 櫻蘭 麒麟草 和深海草

狸鼻 赤鼻 鱗、形、大、赤、鼻、の、石、和、収 石和収 太留美

多 何如 大烏枝

鱈 大鱈 塩左利 塩精

塩獅 塩左利 塩精

塩鯉

魚肉 江川、山、の、溪、へ、海、産、物、を、寄、り、て、肉、を、細、肉、に、磨、り、帶、之、衣、大、き、い、中、三、四、入、大、糸、河、内、子、輪、り、百、粒、の、畧、只、十、月、中、と、云

海馬 海馬 白、凡、入、海、古、言、鴨、鼻、山、家、産、古、言、前、也、り

牛角貝 牛、角、貝、と、云、所、に、名、付、鳥、貝、濃、く、酒、に、能

熊膽

熊皮

猿 別猿胆の煎を湯に
十餘分を以て

山鴉 味苦の鴉
増量あり

狼

山犬

狼骨

温泉

本堂湯 奉國所
湯 奉國所
山崎湯 平湯

田湯
破湯

上湯
鉄湯

河湯
元湯

海湯

温泉論曰 温泉湯 温泉の湯を治すに味微鹹而甘

煩 有鉄身其言極甚 予湯等の道記曰 湯の

湯を多くし内を蒸し病を癒す種瘡うつ湯の瘡の

せ 瘡の湯も大方是れ同じ湯をうつやとてし冷一也

痔瘡 腰下の病あり 湯の湯に柔らかな瘡あり

第度入るものほせり事なり 銀湯の積を刺すに

やれ金瘡に類し瘡を事し早を以て湯の湯と

いふなり 湯の湯の程は知らざるなり 元湯の湯に

ハルと瘡病を癒すにハルと瘡病を癒すにハルと瘡病を癒すに

是を湯等の根元とす大瘡をかく入る養生す△

口故瘡の湯とすハルと瘡病を癒すにハルと瘡病を癒すに

ひたせし上々の病を癒すにハルと瘡病を癒すにハルと瘡病を癒すに

の瘡を治す湯あり 瘡を癒すにハルと瘡病を癒すにハルと瘡病を癒すに

岩向より本をく採り出さる湯あり 湯を癒すにハルと瘡病を癒すにハルと瘡病を癒すに

りとして 越日ありハルと瘡病を癒すにハルと瘡病を癒すにハルと瘡病を癒すに

たゞしつてあやのさるること、あやとて思ふは所
の湯の湯に同湯の功能を示し、かく湯治の
人々が湯治の功を著すの待り。

湯治湯治記曰入湯ハ十日一四リと云、初日の
一入湯、二日二入湯、三日三入湯、
四日四入湯、五日五入湯、六日六入湯、七日七入湯、
八日八入湯、九日九入湯、十日十入湯、
十一日十一入湯、十二日十二入湯、十三日十三入湯、
十四日十四入湯、十五日十五入湯、十六日十六入湯、
十七日十七入湯、十八日十八入湯、十九日十九入湯、
二十日二十入湯、二十一日二十一入湯、二十二日二十二入湯、
二十三日二十三入湯、二十四日二十四入湯、二十五日二十五入湯、
二十六日二十六入湯、二十七日二十七入湯、二十八日二十八入湯、
二十日二十九入湯、三十日三十入湯、三十一日三十一入湯、
三十二日三十二入湯、三十三日三十三入湯、三十四日三十四入湯、
三十五日三十五入湯、三十六日三十六入湯、三十七日三十七入湯、
三十八日三十八入湯、三十九日三十九入湯、四十日四十入湯、
四十一日四十一入湯、四十二日四十二入湯、四十三日四十三入湯、
四十四日四十四入湯、四十五日四十五入湯、四十六日四十六入湯、
四十七日四十七入湯、四十八日四十八入湯、四十九日四十九入湯、
五十日五十入湯、五十一日五十一入湯、五十二日五十二入湯、
五十三日五十三入湯、五十四日五十四入湯、五十五日五十五入湯、
五十六日五十六入湯、五十七日五十七入湯、五十八日五十八入湯、
五十九日五十九入湯、六十日六十入湯、六十一日六十一入湯、
六十二日六十二入湯、六十三日六十三入湯、六十四日六十四入湯、
六十五日六十五入湯、六十六日六十六入湯、六十七日六十七入湯、
六十八日六十八入湯、六十九日六十九入湯、七十日七十入湯、
七十一日七十一入湯、七十二日七十二入湯、七十三日七十三入湯、
七十四日七十四入湯、七十五日七十五入湯、七十六日七十六入湯、
七十七日七十七入湯、七十八日七十八入湯、七十九日七十九入湯、
八十日八十入湯、八十一日八十一入湯、八十二日八十二入湯、
八十三日八十三入湯、八十四日八十四入湯、八十五日八十五入湯、
八十六日八十六入湯、八十七日八十七入湯、八十八日八十八入湯、
八十九日八十九入湯、九十日九十入湯、九十一日九十一入湯、
九十二日九十二入湯、九十三日九十三入湯、九十四日九十四入湯、
九十五日九十五入湯、九十六日九十六入湯、九十七日九十七入湯、
九十八日九十八入湯、九十九日九十九入湯、
百日百入湯、百一日百入湯、百二日百入湯、百三日百入湯、
百四日百入湯、百五日百入湯、百六日百入湯、百七日百入湯、
百八日百入湯、百九日百入湯、百十日百入湯、百十一日百入湯、
百十二日百入湯、百十三日百入湯、百十四日百入湯、百十五日百入湯、
百十六日百入湯、百十七日百入湯、百十八日百入湯、百十九日百入湯、
百二十日百入湯、百二十一日百入湯、百二十二日百入湯、
百二十三日百入湯、百二十四日百入湯、百二十五日百入湯、
百二十六日百入湯、百二十七日百入湯、百二十八日百入湯、
百二十九日百入湯、百三十日百入湯、百三十一日百入湯、
百三十二日百入湯、百三十三日百入湯、百三十四日百入湯、
百三十五日百入湯、百三十六日百入湯、百三十七日百入湯、
百三十八日百入湯、百三十九日百入湯、百四十日百入湯、
百四十一日百入湯、百四十二日百入湯、百四十三日百入湯、
百四十四日百入湯、百四十五日百入湯、百四十六日百入湯、
百四十七日百入湯、百四十八日百入湯、百四十九日百入湯、
百五十日百入湯、百五十一日百入湯、百五十二日百入湯、
百五十三日百入湯、百五十四日百入湯、百五十五日百入湯、
百五十六日百入湯、百五十七日百入湯、百五十八日百入湯、
百五十九日百入湯、百六十日百入湯、百六十一日百入湯、
百六十二日百入湯、百六十三日百入湯、百六十四日百入湯、
百六十五日百入湯、百六十六日百入湯、百六十七日百入湯、
百六十八日百入湯、百六十九日百入湯、百七十日百入湯、
百七十一日百入湯、百七十二日百入湯、百七十三日百入湯、
百七十四日百入湯、百七十五日百入湯、百七十六日百入湯、
百七十七日百入湯、百七十八日百入湯、百七十九日百入湯、
百八十日百入湯、百八十一日百入湯、百八十二日百入湯、
百八十三日百入湯、百八十四日百入湯、百八十五日百入湯、
百八十六日百入湯、百八十七日百入湯、百八十八日百入湯、
百八十九日百入湯、百九十日百入湯、百九十一日百入湯、
百九十二日百入湯、百九十三日百入湯、百九十四日百入湯、
百九十五日百入湯、百九十六日百入湯、百九十七日百入湯、
百九十八日百入湯、百九十九日百入湯、
百日百入湯、

今昔部
人物

此牛サヤレハ湯治の驗見たるの又あやの在大山
水言下り可憐乃女系教と道立と云、病の
中リナレハ出な生お物女リ湯治の日教い家回
レハとも好クハレハ一牛記湯治の古名ハ正
一子述地所ハ温泉湯治の湯治ハまた別
ハ枝ナレハ
ハ枝ナレハ

山神天宮
出神天宮
湯一五ノ湯
村の南ハ有難全社神事牛所ハ社ハ湯治社ナリ
例也

齊明天皇 齊明天皇四年四月行幸於神戶津

玉和臣伴國道等始を御進玉と記したり

文武天皇 倭日不臣之大臣元多等十月云皇幸臣伴國

山神所其の昔文武天皇の御幸の御蹟也

白河宮 年崇部朝夫社新川村合伴一瀬の白河ノ院

何れに瑞砂流といふ白河宮の宮の蹟

千重宮 盛上皇祀之日加村中野村盛上皇御蹟也

油濁の迹をいふ事也

膳所宮 慶長王子社の上皇廟大守等御蹟也

信時御蹟の事言ひ置かば古蹟あり候なり

富清 富清入道西行法師無量壽山八上の社を其の

待えり八上のやうに候小十郎一馬一くちを三福の山に

種抄長者 山徳有後山種抄長者は伴國重臣家貴

和泉亦部 或許に重臣の陪一のありて本宮の不行にて途程

別當湯増 吾言ふ言敷真天子平家御蹟の別當湯増の湯

岩田山長昌 岩田入道山長昌の御蹟也別當の御蹟也

南無女 定家御蹟の月記に曰南無女は伴國の住持也

新慶 武藏守年寄の御蹟也別當の御蹟也

真佛丸と呼ぶ人今田辺の御蹟也

秋記の御蹟也

神符の田中や弁者も有一子名曰若湯河原大系國の
朝と云又古書國傳卷中若山年家世生可也若湯河原の
と何れも証跡遺りて不詳

盛長

女室九郎盛長社に子未即湯河原若湯河原
本朝信長志の盛長は重長の子と我知人神志
録に美の氏名八郎神志の神志は九郎の海
と云又一説の湯河原九郎の社に古の盛長津の湯也
本朝記に傳大官志平地何國及盛長津の湯と云い此不詳
い若洲と傳盛長津を若山と傳と云也此は福山志平一
く土人の口伝也

後藤守長

盛長は後藤守長の子守長の子守長の子守長の子守長
平家盛長時局の信長は杜鶴の子守長の子守長
又名を若山と云元暦年御歴の神傳に若山の子守長
此若山守長の傳は守長の子守長の子守長の子守長

湯川安房入道

神志類傳の湯川安房入道正年道川安房
録五十四國傳の傳用若山の子守長の子守長の子守長

湯川安房入道

真砂左司

神志類傳の真砂左司正年道川安房
左真砂左司の子守長の子守長の子守長の子守長
此真砂左司の子守長の子守長の子守長の子守長

野老源三

神志類傳の野老源三の子守長の子守長の子守長

湯川兵部

神志類傳の湯川兵部の子守長の子守長の子守長
神志類傳の湯川兵部の子守長の子守長の子守長

方田伊豆守

高田牛之介

湯川教春

宗代 兵庫頭

神志類傳の湯川教春の子守長の子守長の子守長
神志類傳の湯川教春の子守長の子守長の子守長
神志類傳の湯川教春の子守長の子守長の子守長

山本三郎

國姓、山本三郎、室部一、清津村の城に居た、山本判
官、清津田辺判官、山本判官、半時、不天、清津の陣を有田
の阿波川の城に居り、山本判官、清津、山本判官、島津大將、
天正十二年、秀吉の三將、仙石、松平、本多、島津、島津、
守、島津、三、島津、島津、島津、島津、島津、島津、
島津、島津、島津、島津、島津、島津、島津、島津、
島津、島津、島津、島津、島津、島津、島津、島津、

横手六郎

島津、島津、島津、島津、島津、島津、島津、島津、
島津、島津、島津、島津、島津、島津、島津、島津、
島津、島津、島津、島津、島津、島津、島津、島津、
島津、島津、島津、島津、島津、島津、島津、島津、

島津源長俊

島津源三郎長俊、室部一、清津村の城に居た、
島津源三郎長俊、室部一、清津村の城に居た、

島津三郎長

島津三郎長、室部一、清津村の城に居た、
島津三郎長、室部一、清津村の城に居た、

島津三郎長

島津三郎長、室部一、清津村の城に居た、
島津三郎長、室部一、清津村の城に居た、

島津三郎長

島津三郎長、室部一、清津村の城に居た、
島津三郎長、室部一、清津村の城に居た、

島津三郎長

島津三郎長、室部一、清津村の城に居た、
島津三郎長、室部一、清津村の城に居た、

の録と成り、田辺清村の在城也

折尾城後守

天正四年、田辺清村の在城也、折尾城後守、
天正四年、田辺清村の在城也、折尾城後守、

折尾城後守

折尾城後守

天正四年、田辺清村の在城也、折尾城後守、
天正四年、田辺清村の在城也、折尾城後守、

秋津村 秋津の里
秋津新 金満寺 出 名所 古寺 万葉集

岩倉山 下津津 名所

雲の森 天木集 秋津の里 雲を御平多 万葉集
名所 古寺 秋津の里 雲の森 秋津の里 雲の森 秋津の里
傳子載 人の世の習を 秋津の里 秋津の里 秋津の里 秋津の里
故 雲の森の地名あり

八國山 名所 伊作田 左向古 大泉野

湯川 敷村 本多主君 神子の湯

神島 名所 石向の里 名所 古寺 万葉集 神島

新庄 牛込形又湯 跡の湯 古寺 秋津の里 秋津の里 秋津の里 秋津の里

朝来軒 牛自海道 飯屋大田地 古寺 秋津の里 秋津の里 秋津の里 秋津の里

野田村 上田 太刀屋新

鉦山 湯崎 網不知 湯崎 名所 古寺 秋津の里 秋津の里 秋津の里 秋津の里

御所の里 有明 湯崎 名所 古寺 秋津の里 秋津の里 秋津の里 秋津の里

千思敷敷 牛込 湯崎 名所 古寺 秋津の里 秋津の里 秋津の里 秋津の里

志の湯 白良湯の里 湯崎 名所 古寺 秋津の里 秋津の里 秋津の里 秋津の里

瀨之湯 桔梗 湯崎 名所 古寺 秋津の里 秋津の里 秋津の里 秋津の里

藤ヶ原 本朝 湯崎 名所 古寺 秋津の里 秋津の里 秋津の里 秋津の里

才村 溝端 高井

平村 高田 芝野

朝来帰神 高湯 中村

袋湯 三山 内山

富田坂 富田坂一里
舟木
大野
神宮寺
日向海
寺山
何勢谷 銀杏の大本

向平
山津木
田ノ井
五傳

川合
河原
小房

小谷
深谷
久木

西川
仲屋
岡村 昔懸堂跡古海
道岡村 博址

八上王子社 名所 四行
法師の音
小山谷
尾崎

茶光
市瀬 博址
馬場野

岩田 岩田家昌
名所 古音 清集、新音 懸堂
合佛ノ洞 白河ノ原 前生 船舞 一柳 根ノ繁、一雲 岩
田川 側 船川村 近 田 込 人 佐ノ 河ノ 原 合 佛
寺 青ノ 生 此ノ 河 産ノ 冷 涌 上ノ 水

赤所ノ瀬 皇居ノ 故
皇居ノ 故
真砂村 左ノ 月ノ 故 壇 堂 地 河 原 生

山頭村 皇居ノ 古海
皇居ノ 古海
瀨尻王子社 後ノ 村 帝 和 寺 跡 合
有ノ 家

香術家 春 秋 二 香 術 家 土 人
香術ノ 家ノ 跡
生馬村

救馬村
石和利川 石和利川ノ 不 解 ノ 知 手 谷 ノ 深 谷
名所 古音
三栖 上三栖 中三栖 下三栖 三在 古音
老 軍 陣 跡ノ 旧 址 也

三栢山 山麓集古寺

長尾坂 磴道五十石

水ヶ崎

潮見崎 度々橋下

橋本坂 中辺天四年、古身場

三三村

新津原川 鴨

三三川

高原

後身月夜清原 丑亥 山本月照抄の題、道方朝臣 宮五中山領、牛月新、牛と其の松を地蔵方、女寺

十條崎

近雲

楠山坂 藤合、清田、和野、界、在、牛、原、三子、藤、藤、主、行、定、品、近、藤、川、大、四、地、女、寺、の、海

野中村

野中の清水 寺 杖良村 女寺

香御持木櫻

紅葉の滝の滝崎 草鞋坂 易治崎也 山上 女寺

熊渡坂

道湯村

三軒崎 名不、女寺 左、右、素木村 興、延、延、界、目、と、在

山の上段 復身相江

三軒崎 弓手山崎 至、祭、門

法心門 王子社

今、社、の、一、古、木、の、杉、立、に、在

祭門

無量木堂、大門古、四、所、在、東、祭、門、西、其、持、門、南、修、持、門、北、湮、懸、門、深、平、盛、上、表、記、三

仁中將 祭門の著玉の上品上生、此れを見、深、新、生、死、の、家、を、出、て、即、悟、不、生、言、入、と、思、入、け、と、有、女、家、御、月、形、子、十五、の、牛、付、祭、門、の、名、門、の、柱、が、惠、日、光、前、識、罪、根、大、惡、道、上、祭、門、と、書、付、と、記、せ、ら、ま、た、り、人、の、大、門、の、跡、を、かり、也、十、軒、集、小、持、中、何、言、任、家、の、三、子、の、故、一、く、神、の、言、を、た、と、い、ふ、二、子、茶、在、門、の、入、り、の、

伏拝村

神、理、の、和、能、可、部、無、量、持、の、月、の、傍、有、り、と、也、如、く、遠、拜、村、女、寺、の、名、身、と、い、ふ

湯の岩

湯、の、岩、温、泉、女、子、所、湯、古、其、坐、坐、湯、と、稱、す、は、也、湯、の、岩、華、師、堂、五、間、四、面、大、岡、考、考、の、

建、立、と、い、ふ、湯、の、岩、華、師、堂、本、寺、華、師、如、來、の、温、泉、の、冷、温、泉、不、女、寺、一、所、華、師、佛、堂、像、造、作、若、キ、佛、の、身、の、向、く、温、泉、海、也、佛、の、胸、向、く、深、水、一、所、若、キ、内、の、六、二、の、之、温、泉、四、所、一、所、湯、を、引、集、ま、り、寺、の、名、の、東、

の方面六丁湯海子に於て是れ上之湯と稱せ
不断留湯也湯能の湯に熱氣を治す中湯燈三
上り如雲空曇れり引く太湯に力ありて
或、白果や布袋、物、湯に浸し置、暫く小瓶と成
但請ち、肉、大根、えび、煮こし、不熱、其、理、解、忘、か、た、事
可

三日無の星 名所古考

七城の頭 西行法師

町橋 名所古考 音方の星 天本集古考

三日無川 水湯出七城 經小森一本抄入大書川

本宮 本山南十町一西部寺多、龜甲山大雪寺

第一殿 國尊三尊

第二殿 伊弉諾尊

本社證誠殿 伊弉册尊

第四殿 天照皇大神 著一五子種

第三殿 天忍穗耳尊

第五殿 瓊杵尊

第七殿 高火火出見尊

第八殿 鵜葺草葺不合尊

第九殿 古刀宮
十刀宮

第十殿 泥土煮
沙土煮

第十一殿 大元邊
大元邊

第十二殿 西之尊
西之尊

拜殿 昔大和太神言香長、其之

按神代卷何葉母尊何葉諸尊垂然の地ハ熊野有
 國を以て之を神隱りしけるを神武天皇五十八年庚
 午十月有國在リ高河原言吾皇よ為請一奉了
 今高河原川の辺本宮の社也是也崇神天皇五十五
 年及後本社諸神殿を造ると云々神武天皇
 出雲神に至り十代の間ハ高河原の社も毎かりし
 覺ゆ此時始て本宮諸神殿を造りて今代記の神
 武五十七年丁巳諸神始て降下行何熊野と書
 たりハ高河原高河原の地ハ國一奉了神事とい
 一奉了神武天皇一三代實録ハ無也本宮新

言共の授と云事ハ人位位階尊卑を三との不同是ハ
 社領米地の差別の稱也古ハ和漢書ハ王制ハ位田と
 云者有て正一位ハ正一位ハ位田有リ正一位の位ハ正
 一位の田地を分りて村名ハ神戶と云是なり其階級
 禮ヲ調度也其の格相當の才神行也但一正一位
 の位田ハ八十畝也五位以上のハ有位田ハ位田ハ
 下ハ無位田也

- | | | |
|--------|---------|-----|
| 福定 | 兵部 | 高車 |
| 木守 上木守 | 管地 | 曲川 |
| 下木守 | | |
| 市床路 | 大内川 高車寺 | 下内川 |

切原 直長記金別光寺出雲の郷
竹澤

和母 面河 熊野郎

八木彦谷 竹平 谷口

大谷 澤 小菅

田懸川 下川 平澤

五味 北郡 九川

原郷 津谷 小谷

津路渡 渡渡 百打

三好川 俗に九里八町と云ふ所は三川の落合の
渡と舟船次あり舟所より船を解下る新宮

府近深く傾て舟船あり富山村扇島池の個代々
新見あり岩樟木山寺下小鳥帽子老有指巻石

い加方川端の敷山カ有巨石不ふいふ石 折敷岩
時曾石有 左方の場枝村寺華寺華師佛の替一宗
前ノ三十三回堂の御神の本の二本の出たる所其柳の切掃
可以て七休の葉呼尊の初牛寺の谷置古地、名も直揚
枝村と名々朝山有 今寺より行ける和気村表手登明神名
所あり、右、方の遠慶石 左、方の清の境有川の境 三
重の寺表の境 右の大七の 様は、り、観不知、子不
知の新所有陸地、火神の森 骨石 右、真名等不知
竹北、と、今、引、廻、石、解、四、角、有、る、平、新、の、上、の、肝
石、と、と、丈、十、百、十、尺、餘、の、田、を、石、を、耕、た、り、新、村、の、上、の、肝
石、の、根、露、れ、積、た、る、地、障、の、上、の、時、を、霞、の、其、下、を、河
舟、の、り、下、る、也、石、形、と、い、お、物、大、多、く、船、石、の、舟、の、低、大、の
形、した、る、也、田、長、村、の、いた、る、石、の、境、白、糸、の、湯、有、雪
の、境、水、三、堂、の、一、碑、の、吹、雪、の、如、く、飄、下、る、白、糸、の、湯、の、如
く、境、又、た、ま、り、多、く、九、室、の、所、の、同、の、大、れ、下、地、の、境、の、如、く、都
令、古、簡、の、時、時、新、御、あり

三好郡 無事野

年暮新身熊野と唱新言存り東海道に赴く奥路
 錦海道の間をいふ古りゆ土に大隈白岩岡の似たれとて
 地甚廣から山谷峰々田畑多し米穀柿柿成り故に國形
 の運糧を待て春とて故に凶年いたれば米價高直り
 諸國の高米不至土人推定の家小世を濟し仕事し盡
 し忽飢饉不及出れば為り女形年屏鷲長島周
 三見海三ヶ所社会を建おれ窮民の手當の成り
 二箇所の二百石の救米を言をいふ 希仁惠の一
 ぶり
 産物

粟米 早稲 粗米
 南米 早稲 粗米

梁

黍

粳

大小麦

大小豆

粟粉

檀粉

椎葉

楮

寧 丸目 日露

寧 丸目 日露

人参

和参 相好 船津 無虫人参や俗神移人参と稱
 不 所種人多根活 朝鮮人多根を官命し依り是
 不 然物不移一植人多根大い此 漢東人多根と名つて
 物と類と不同凡く多の根類多し又其性多異なる也
 此種人参の以朝鮮傳來の本論しものと可也

黄連

當歸

曼荊子

紫胡

茯苓

煙草 名花ニ帰三脚

割煙草 新宮茶

新宮茶 上茶 辰野山製茶

茶蔵 長官

割茶 長官 何首烏 長官

自然草

主海苔 辰野山製茶 辰野山製茶

海苔

辰野山製茶

佳指儀

辰野山製茶 辰野山製茶 辰野山製茶

辰野山製茶

辰野山製茶 辰野山製茶

辰野山製茶

辰野山製茶

辰野山製茶

辰野山製茶

辰野山製茶

辰野山製茶

○

△

□

○

□

○

△

□

○

□

御備相

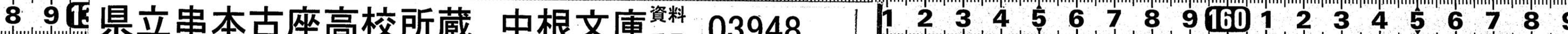
日本新設之殿命御備相の所奉仕其意の御備相を取らんと云御備相は辰野山製茶

主監中才部は辰野山製茶

辰野山製茶

武林平徳曰辰野山製茶

辰野山製茶



那智黒石

紫石

金片石

玉瀨石

石芝

石相

姫神姫黒石

盆砂

隠水石 妙法山蔵
里人禪

田舎神石

燧石 前山嶺
北股村

硯石 舟清寺
神ノ上

化石類

幽蘭 釜山出傳の地
三尾窪の古友

急雨

眞白蘭

石彫

器度

濱由布

濱邊人禪 三尾窪濱由布の濱由布奇
意義抄の婦人禪會身長粉の用由

米粒つじ

楓 玉置山

北山村木

北山村の運漕の古木

杉

杉

榎

樟

楓

柞

栗丸太

赤樫木

青三ノ浦

派樫木

青のり

打珊瑚珠

寛政年太地浦より打珊瑚珠一顆海側にて保
り出昂存存を奉り海彦の木坂の才、故に

不磨の根本の又研之、女宮深紅の二葉深作の打研
珊瑚珠也、重割同、百廿六、多揚、揚、往、り、九、寸、五、分、堅、之、高、

十五、寸、五、分、打、研、根、固、四、寸、八、分、折、束、新、山、笠、山、笠、

宮、一、二、層、其、の、間、有、り、派、研、珠、と、名、つ、け、世、傳、神、林、之、

諸、手、取、傳、神、本、行、曰、行、作、園、
三、尾、窪、三、尾、窪

以、爲、例、
國、初、堂、之、神、道、之、神、林、の、神、林、と、稱、一、不、斷、園、
車、運、漕、一、江、入、川、の、海、高、一、園、用、之、後、一、復、爲、之、備、

鯨 鯨の形に似て待き、其、

鯨肉 白肉に巨身

無骨 石臼製を粉 鯨油 鯨比禮

鯨油 油糟

鯨骨

鯨牙 マッコウ牙 象牙に似 殊の外 牙齦部 腫れ及根牙

鯨肺 鯨腸

鯨筋 本、本海

共利和泉 鯨海

鯨斗資 津島海 除留麻箱 水味

鯨 大鯨

大鯨 新田 鯨 白臭

大鯨 結丹のく 鱧を執はり 土人海の上ニ 鱧リ 一月ノ末ニ 鱧

我ハ 宗物ノ頭ヲ 濟シ 鱧ノ 大物鱧 長皆 三尺餘大

大鯨 右 津海物川の上 月ノ 津村ノ 春海ノ 言所ノ 鱧ヲ 大鯨

我ハ 女長 一丈計 胸大ニ 天ノ 及 時ヲ 干物 計ニ 鱧物ノ

我ハ 羊 延津川 九里ハ 下川 川 辺 鱧 鱧 羊 皮

我ハ 羊 石壁ノ 間ノ 多ク 鱧 鱧 羊 皮

我ハ 熊野 銅山 熊野 銅山 箇所 潮干ニ 待テ 入 湯 鱧

我ハ 大栗 栢山 赤杉山 後 鱧 鱧 鱧

我ハ 赤木山 高野山 板屋村 二葉山

我ハ 小嶺山 物太山 大河内 鱧 鱧 鱧

物房山	天瀨山	大徳
一休山	鍾塚	山口 根井
霞谷山	永徳	大谷 楊枝山
常谷山	大沼	狗子川
青河山	綾谷山	女 養谷山
萬歳山	大黒山	井路木谷 高野井
長谷山	白豆山	山口谷
佐草山	和地山	熊渡山
茄子谷	小滝子	水尾
月瀨山	永野山	永野山

朴木山	大河内	清真天
榎原山	佐草山	黒津山
尾島山	小坂山	古原
田垣内	竹原山	田満寺山
東山	大野山	榎谷山
大谷山	大懸山	小森
折三看山	湯山	狼谷
小吹山	湯山	桐谷山
草谷	什瀬山	鳥帽子山
四山	喜神谷山	鷹馬山
		楊枝山

の傍小二色傳言、三橋跡、濱、若、古、名、舟、敷、の、海、又、仁、智、の、

八咫鳥

神武天皇無雙の志を遂げ、征し、玉、前、時、八咫鳥、天、皇、
の、御、幸、導、き、た、を、鑑、む、其、御、氣、令、御、幸、也、八咫鳥、此、
村、と、云、ふ、一、作、八咫鏡、等、村、八咫鳥、の、社、の、所、言、傳、の、跡、主、
の、言、山、中、に、行、く、神、武、天皇、三、山、鴉、の、使、り、し、ん、と、在、牛、玉、三、
甲、の、鳥、の、文、物、の、形、象、を、用、わ、り、即、是、八咫鳥、の、象、也、由、と、
云、

仁徳天皇

作徳天皇、日本行、大膳、齋、天皇、の、御、孫、則、昔、海、
の、宮、を、御、始、に、詔、し、皇、王、の、皇、位、を、恨、り、と、有、り、天、
皇、三、十、年、秋、九、月、朔、乙、丑、上、皇、后、行、何、の、因、下、遊、行、無、事、潮、
の、瑞、峰、上、到、り、皇、妻、の、瑞、御、極、を、取、り、お、り、し、有、

文武天皇

大、皇、元、年、辛、未、年、六、月、天、皇、御、行、國、無、事、の、港、
の、所、行、幸、す、瑞、峰、中、へ、登、り、皇、三、無、事、の、瑞、の、言、由、布、
の、言、す、よ、り、瑞、峰、山、名、取、り、有、り、

高天原天皇

年、以、以、曰、史、在、三、年、然、也、瑞、幸、

仁化山院

正、曆、三、年、神、史、花、山、治、皇、無、事、即、高、山、の、港、中、
の、言、す、玉、の、瑞、神、現、れ、た、九、六、の、大、目、を、獻、在、

清、皇、氏、の、六、代、を、清、皇、の、底、の、決、め、中、泉、の、飲、む、者、は、
壽、一、七、病、不、か、ら、し、む、ん、と、云、 歲、を、任、じ、白、川、の、清、自、ら、時、に、
大、目、を、得、ん、と、云、 瑞、幸、の、入、る、川、を、求、め、出、む、れ、と、也、

白河清皇

源、平、盛、長、の、白、河、清、皇、(、寛、治、四、年、)
無、事、瑞、幸、三、山、三、度、(、大、治、三、年、)
無、事、瑞、幸、三、山、三、度、

後白河院

盛、長、の、後、白、河、院、本、治、瑞、幸、三、十、四、度、那、志、
山、瑞、幸、十、六、度、

奉天徐福

本、朝、辛、未、代、に、曰、奉、天、皇、乙、卯、年、奉、天、徐、福、
紀、在、國、無、事、海、上、未、と、事、たり、徐、福、の、墓、の、新、宮、
之、所、西、向、梅、枝、の、田、畑、の、間、に、あり、倒、れ、七、堵、あり、傳、曰、古、の、
童、男、童、女、の、墳、墓、一、と、云、ふ、 廿、七、葉、山、と、い、ひ、り、天、皇、社、の、
境、内、徐、福、の、祠、と、一、所、殿、の、川、端、に、有、り、高、山、の、衣、を、り、

佛眼

那、志、山、田、記、に、云、佛、眼、禪、形、二、上、人、の、那、志、山、の、押、
佛、清、定、禪、修、證、道、の、跡、を、り、
昔、に、海、布、の、下、に、御、坐、解、脱、し、て、二、人、塔、を、不、知、其、
終、焉、

禪形

別當教真

無至別當教真、中持宗方の末孫也、
十六名判方源等、年々生田に新其別當
法増及、年々十郎、蘇入、行京等

文貴

室の武名、盛遠古家、自ら、
紀伊國有田郡石垣の庄、古在大持時、
為高生大持、
生、學奉行、常賜、文、
入、海、
新當、
無、
年、
大和國、

一遍

藤沢寺一遍上人、
此、
本、

別當定通

大、
年、
月、

小杉維盛

年、
月、

生、
又、
海、
盛、
所、
三、
任、

竹原八郎

無、
其、
兵、

有馬和助守

山、
古、
子、
家、
二、
泉、

堀川守房守

堀川若狭守

家世詳す初守元祖に懸る別當也
藏有国元領無地至信房景宗錦旗
地大凡六万石許、元和年信房守行
朝大坂の幕府の懸り依り宗地没収せしむ。若
狭守の若狭守人轉り信房守、西人相謀りて天榊原
を自城出まひ、又出陣し、西人相謀りて天榊原
を自城出まひ、又出陣せしむ。

堀川之次

鶴殿藤介

守房守の次男、浪華守忠功有、依り幕府に徴出
す。北宗地二千石賜ひ、子孫に傳ふ事都て奉仕
堀川守房守の三男也、元和年大坂出陣、國府
寄上り、精進津宗地四千石を賜ひ、元和十
三年、父介を石見守、世襲領地没収せしむ。初原云の家名
断絶す。

有国主膳

堀川石川兵衛

白川盛重

堀川守房守、末子有国家、名跡相傳
堀川守房守、支族
名を云事、家世白川、世人
千代盛の裔と云。

白川三九郎

高及撰津守

高河石帯刀

和日記

小山助之丞

永田正政

永田治三郎

永田友右衛門

楠 加兵衛

大畑三郎右衛門

天正年、越中津城に居り、平氏の降参

能登七人武士の月、古登津の侍

人、叫ぶ事載

河川内梅子、無事満住人

西河津、不仕、在室、斎、七人、編士、
寺、師、の、裔、と云

堀川の寺、信、家、也、永田村、の、住、在、儒、林、所、用
三、善、齋、の、一、塔、あり

山之次郎左衛門

釋仲書

元平新書 按那山 澤下 言て 採 取 者 毎 年 示 獲 水 運 一 派 之 異

傳永興

永興 作 何 等 事 亦 然 也 入 山 三 拾 瓦 瓶 骨 歷 歲 不 朽 亦 十 兩 佳 文 不 止 亦 尚 存 我 子 三 三 是 記 及 元 平 新 書

秋陽勝

元平新書 秋陽勝 字 符 仙 行 入 行 為 能 也 山 登 天 傳 抄 本 部 相 違 前 山 田 友

牛等部

名區

田辺府下 高田 邊 迎 方 往 興 馬 路 十 越 大 田 地 輪 と言 谷 山 川 子 流 大 江 川 川 周 三 只 見 志 津 江 任 室 の 海 和 深 田 子 在 田 二 池 浦 關 川 經 濟 神 川 古

在津 距了大島 地と名く

大江間川

安守 安守 昔 の 博 博 公 言 川 水 流 自 近 有 深 水 春

火解投 依 依 依

塩崎

后漕

名立

辻路

口ヶ谷

海上 十八 沖 狩 積 山 有

中島

肉三見

城 野 種 取 浪 被 取 自 守 大 田 間 川 迄 十八 枚 掛 上 一 一 掛 掛 也

口和深 和深 山 名 所 西 行 奇 丈

見志津 長井 横

市原路

大邸

小川

江須崎

江須 利 檣 木 山 名 所 古 弁 原 山 陰 湯 敷 三 熊 堂 の 浪 の 立 力 江 須 崎 有 必 小 古 加 以 屋 舎 の 一 一 掛

大津木 上 津木 下 津木

吐生

防己

小淵川	星ヶ淵	江佐
和洋湖	竹垣川	柿垣川
江田	田子	古屋
中股	上露 下露	在田湖
合川	佐田	大淵
大鑛	二色 袋濱	東阿
二部	田並湖 石坂	南川
里川	日宮	姫湖
姫川	津本	住崎
上野湖		

出雲崎 出雲崎の清水明神ハ元来素戔嗚尊ハ神ハ古事
 記ハ素戔嗚尊相告ニ行何國無カ湖湖ノ所崎ハ
 到リ此地ハ湖ノ名有由候也 伊弉册川津本 神ノ川皆
 奇瑞田所ノ地也 天地開闢而古ノ垂胎神代ノ其首皆神
 多ハ此地ニ又スル一也 玉子 伊弉册

湖御崎 水味ノ神社ハ古事記ハ大己貴ハ天照皇太神
 子皇孫也 皇孫御所也

静宮 田原記ハ古事記ハ命ハ皇孫水味ハ住ニ常世ノ別
 名也 静ノ宮ハ伊弉册ト云たりハ女ヲ事スル所也 古事記ハ
 是リ静ノ宮ハ伊弉册ト云たりハ女ヲ事スル所也 古事記ハ
 大己貴ノ命ハ伊弉册ト云たりハ女ヲ事スル所也 古事記ハ
 皇孫ノ命ハ伊弉册ト云たりハ女ヲ事スル所也 古事記ハ
 静ノ宮ト云たりハ女ヲ事スル所也 古事記ハ

水崎宮 海上ノ古事記ハ皇孫伊弉册ノ湖ノ上ノ下ノ時ト云たり
 但上ノ湖ハ静宮也 皇孫伊弉册ノ湖ノ上ノ下ノ時ト云たり

後事ヤ一浦江ノ入ノ石燈と云

一島 けとみ坂 鈴島石

大石谷 木柵敷 淡島

柏村邸 海抜十本 杉柵道三 古津

河野 西河津 城址 大柳

河野 南平村 古新宮 大島

柳津 須江津 斐伊島

箱島 古松庵 林塔古塔山 青蓮寺 郡松

中津 古松川 川長四里 三尾川 廿五上 竹百運津 奥真砂村

千 古河川ノ右 古田 古河川ノ左

高河原 古河川ノ右 古田 古河川ノ左

庚生寺 宣旨開基 弘仁元年 奉寅九月十三日 重岳山 寺獲所弘

池白 今津木 才谷温泉 有深山 出雲一地 故去 同ノ古日本宿

月瀬 月瀬村 漆瀬 大瀬 川口

一雨 直見峠 中崎

洞屋 洞屋村 漆瀬 二枚石 猿川

山手村 三合川

相瀬 相瀬ノ山 嶽大盤石 廣界 時ニ響ノ声 同ノ云

石ノ上ノ巨人ノ足痕ヲ見

日南川 三津川 古津川上、形古所、道程四里

大川村 真砂村 古津川、京直川、形古 長堤村

佐本 漆川 深谷

西川 千路 根谷

追川 栗垣町 中川

杉根 猪谷 田川

大桑 色川 山手川

松山 直挂 松原

松尾 大野 櫻殿院、千住宮境

田垣内 下川 上坪

和田 五味 九川

津賀 下田原 瀬上浦

上田原 杉白 玉湊 玉石、身

下里 上里 和田

左村 八咫鳥野 一三八咫鏡村、作、廿八咫鳥道守神武天皇、皇軍、實、留、岡、名、書、(日本神祇記)

尾、檢、山、和、田、村、大、善、寺、後、山、名、所、柿、本、人、在、中、前 小匠

高遠井 筑前村 長井

中川 橋川 市屋

大居 二江 澄泉、三、坪 湯本

大和浦 經、宗、院、師、派、家、多、く、維、盛、濯、身、の、神、と、云、東、明、神、其、取、峰、華、島、帆、三、島、凡、世、島、細、切、島

勝海 維盛、大カシ

金ヶ島

平家あり宿所謂山城島是也昔三位維盛入水の時木を削り、削きのを懸せし家

神院落寺

右那智在清、安村

沙法山

妙法山上生院 所餘院寺、自那智山道十八峠、山中四方浄土稱、且月堂二寺、宿國無生、宿人、牛所、不呂、牛、古、後、二、世、向、七、雲、無、生、宿、生、と云事、牛、宿、牛、宿

天満

天満川那智、清、下流、至、牛、入、干、海、天満村、
二那智、城、を、一、漏、く

平路

銅

三輪崎 古名丹敷崎 鯨、末、漁、人

濱宮

千尋の濱 丹敷戸解の祠 一名清宮

芝原津

日本伝神武帝、謀丹敷戸解、雲、芝原津、今、濱宮の地あり

那智山

山門、入、頼、日本第一大靈驗所、熊、三、所、大、権、現

第一殿

淺言大己尊

第二殿

國常立

第三殿

齋談殿 白雲、伊弉册、兩尊

第四殿

事解男神

第五殿

天照皇太神 神第一玉子

那智山觀音堂

本堂、三、間、四、面、尊、方、向、四、面、出、遊、禮、札、亭、与、札、所

那智瀑布

滝、長、一、百、八、間、餘

一滝 那智権現

二滝 如言権

三滝

布川名所 古、寺、あり、山、宮、集、三、重、の、滝、水、か、又、け、り、水、身、子、松、子、二、は、又、松、し、流、れ、水、に、心、澄、み、け、り、三、重、の、た、き

花山院皇居跡

後千載系、花山院神制、思ひまは
山宮系、花山院神皇正統記、
の末、侍りきりて、
事、以て、
の、
銀細工、
金、

清子手觀音堂

空州、
女、
と、
古物、

女意輪堂

津、
今之井、
伊、
河、
市、

伊

河

市

木川

高津

白鷺山

佐那

在、
所、
三、
又、
新、
十、

五井

飛鳥社

往福

本、
初、
本、
初、

蓬萊山 河堵の葦山、名

御福墓 城下馬の西南向の中、有

新宮城 牛地古名、新宮村、保元平、鳥野別当、教真、
新宮十郎、中入、新宮寺、座主、別当、取代、の、居

一馬中、古、有、馬、在、有、馬、和、取、守、天、正、年、坊、内、女、守、守、者、
長、年、坊、内、各、御、守、行、初、元、和、年、で、未、水、堂、家、居、坊、

神人、名、山 旧、記、曰、上、古、に、悠、悠、地、主、神、女、宮、下、命、垂、路、地、
三、三、今、親、音、堂、西、深、洞、王、を、送、置、一、巻、を、載、

藤、梅、現、と、當、祭、仲、家、所、謂、天、新、夜、又、或、天、和、天、和、
皆、俗、言、天、狗、事、也、石、壇、重、疊、近、古、百、餘、丈、事、三、所、餘、
堂、有、斷、鑿、飛、潭、の、上、自、古、一、段、の、回、禊、不、斷、所、也、傳、
古、今、案、の、事、三、三、三、の、神、會、の、石、た、た、の、石、の、事、也、

狛、所、の、事、也、
其、祭、の、自、以、石、尼、寺、牛、の、宮、印、の、神、守、と、い、た、す

八咫鳥、祠 新、宮、城、の、鑿、井、の、社

田長 所城 高田

十敷島 大山 鑿塚

赤木 濱本 椋井

小口 大雪系 本相、信、禱、志、行、不、無、事、大、雪、系、
怪、古、の、記

小雲臥 東却 日造

東敷屋

楊枝 東、三、三、三、同、堂、梁、木、出、た、り、谷、楊、枝、村、寺、樂、寺、葉、
師、七、伴、柳、切、楊、枝、の、遠、之、盡、置、葉、銅、山、今、葉、行、
和、言、美、美、物、神、長、所、古、事、美、美、不、村、
後、白、行、院、旧、記

大津芥村 和言 美美物神長所古事 美美不村

清川 多 九重 皆瀬川

白代 野竹 高田

小津荷 西敷屋 山合

下木

四襲

若井 後醍醐天皇

竹竹同

板屋

大栗栖

大栗栖神社 一山 入 藤 乃 百 刀 銅 池 入 藤 信 仲 真 自 氏 家 出

小栗栖

天ノ川

樽子

木津呂

五宮 五宮山 楓 樹 多

丸山

桐原

相谷

尾山

長井

赤人谷

新所 日暮 坂

青川

吉井

小舟 小舟村 十山 島津 止 河 船 道 三 里 宜 港 上 船 寺

百夜月村

湯白 天 船 寺 不 良 寺

島津 牛 島 津 川 船 道

大河川

小川

長原

神路 持谷 坂

柳谷 至 上 坂

大井谷

桃源

寺谷

上香村

神山 光福寺 千三 住 住 堂 別 立

野口

佐渡

小坂 却 山 辨 新 所

大股

小股

片山

風吹燈

赤木

大倉谷

長原

二子谷

新倉

北山

大沼

二子井

小池

小野村

下滝

竹原

大 平 野 竹 原 八 郎 西 天 塚 堂 大 和 十 津 川 政 兵 衛 上 相 若 子 宗 方 小 栗 寺 一 貫

花和 大塚宮古塚
七色 和系十津川
高原

湯谷 神上
河口

和田 上野山 尾志志在
長徳寺
皆山

小坂 神内
井田

了治 中三
永田

坂杉原 西原
高岡

大空 井内
下尾井

波屋 飛雲寺
杉杖 瑞穂島 古寺裁夫
木倉

鶴殿 鶴殿天元社 十二年前新築
築地寺 (木傳院)

成川 成川所流
新京城下白方路東海邊
起一里俗

難田村 新田入道
點 彦屋、楠と云
大木 長男十三間田
九尋 寛政七年四月至
火焼 (牛鼻社)

阿田和 上中木
下中木

志原 久生村 俗
又作申寺

有馬 信神本住
住持外ノ隣花ノ寺
五ノ宮

金山寺 女樂寺
東寺
井土 林趾
池部

本ノ本神 林趾
本ノ本神 一作
大泊

小泊 田村
觀音堂
大田二平
大引

新藤

波田須 古作奉仕
昔奉ノ律柄
矢野の碑
上ノ看
古木
本神山中
墨堂
一ノ雲
石崖有律柄
古墳

二本島 林趾
一作二
林木島 或
林木
四鬼
墨堂
一

曾根浦 津島曾根太師曾根次郎曾根 里の浦

南母浦 堀加浦 須の浦

梅ヶ崎 名所古寺 加太 古江浦

小海 三木浦 津島有一 小股

白海 八鬼山 八鬼山 八鬼山の頂秋を眺たる曙の後の河の富士を見

盛打浦 九鬼浦 津島あり 長柄

小川 山浦 行跡浦 旧の名

何浦 九鬼向井太の何の園に局を設け同集り遊遊三

海船船の幕府に付桐定たりと書たり昔の牛

田家の海船集也

田の武士東海道の舟路の園を去く經堂の船材を棄
けんと皆海船の持をりまといふ九鬼向井竟り及甲子
田家の海船集也

矢野浦

尾崎浦 名所海邊船場の地家数多し多し古家の
音人あり矢野の海邊に路村所傳き國船路

の一新言也

便の山 松の本 舟津

上屋 中屋 馬瀬 舟子背坂

三浦 海路浦 古屋

引本 白海

長島 林屋人家敷千軒新所本所あり佛堂寺の原死
堀川金沢四年十月等の地家津浪立人多

八海漢字書數十人の碑志の建

小山 天満島 勝海寺 女樂寺

前山 北股岩 申功 大原

十瀬 江邊 錦海 名所西行寺

二御 熊野自長寺 伊勢西宮近行 程十六里 自二御 伊勢國大内山 前塚 越直三十所

十十徳の傳 卷之四



此原本、和弁山縣の圖書館蔵本にシテ、本在木田和歌吹上、
浦、印、岡本家蔵書印、判、並和歌吹の圖書館蔵本、有津田源兵衛
書印、三印章ヲ押捺アリ、想、之、又岡本氏、蔵本ナリ、レカ、津田氏、手
ニ移、津田氏、岡本館ニ寄贈、シ、レ、而、レ、本、謄、字、多、ク、
体裁、之、亂、シ、ト、思、ハ、ル、第、一、ル、モ、大、体、本、原、ニ、從、ヒ、其、誤、リ、明、カ、ナ、リ、
正、之、ヲ、改、メ、タ、リ

昭和七年六月十三日、始、メ、大、正、二、年、の、下、

中根 中根 中根



八瀬溪河舟敷千人の碑志の建

小山

天満島

勝海寺

新山

北股岩

中功

大原

十瀬

江滝

錦海

二御

熊野自長島伊勢西宮迄行程十六里自
二御守勢國大内山前坂越道三十里

十十瀬の傳書之目録

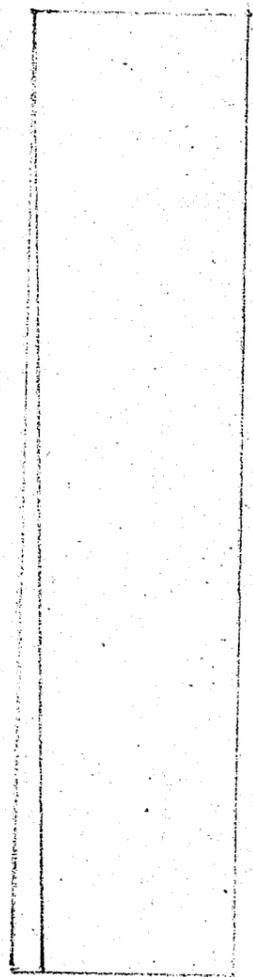
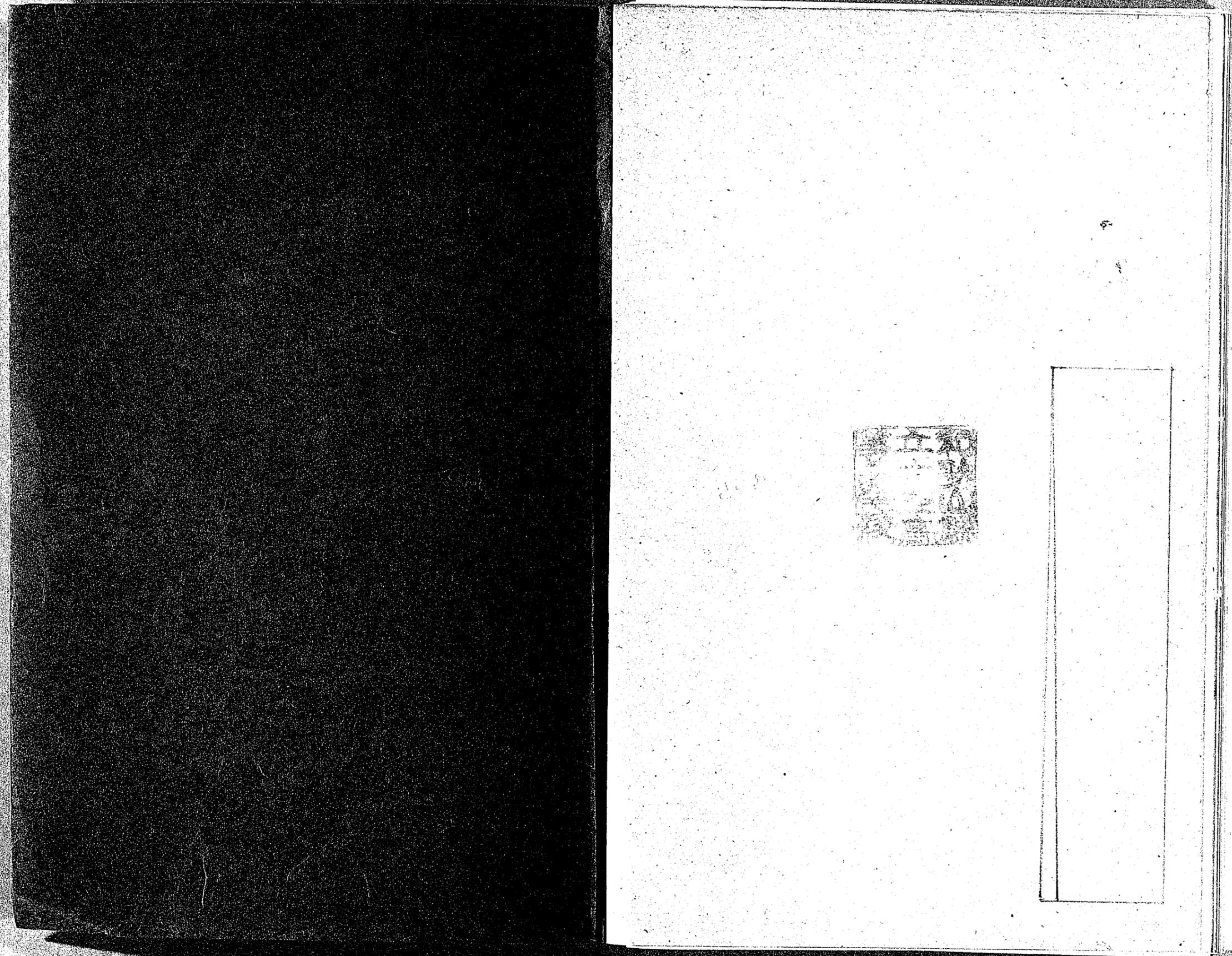


此原本、和音山縣の圖書館蔵本にシテ、家在本國和歌歌上ト
浦ノ印、岡本宗茂書印ノ判、並和歌の圖書館蔵本之有、津田源兵衛
宗守ノ印、三印章ヲ押捺セリ、想フニ岡本氏ノ蔵本ナリシカ、津田氏ニ手
ニ移リ、津田氏ヨリ岡本館ニ寄贈シタルニシテ、而トテ原本誤字多クシ
体裁ニ亂レリト、思ハルニ、第アルモ、大体原本ニ從ヒ、其誤リノ明カラナレ
ルニシテ改メタリ

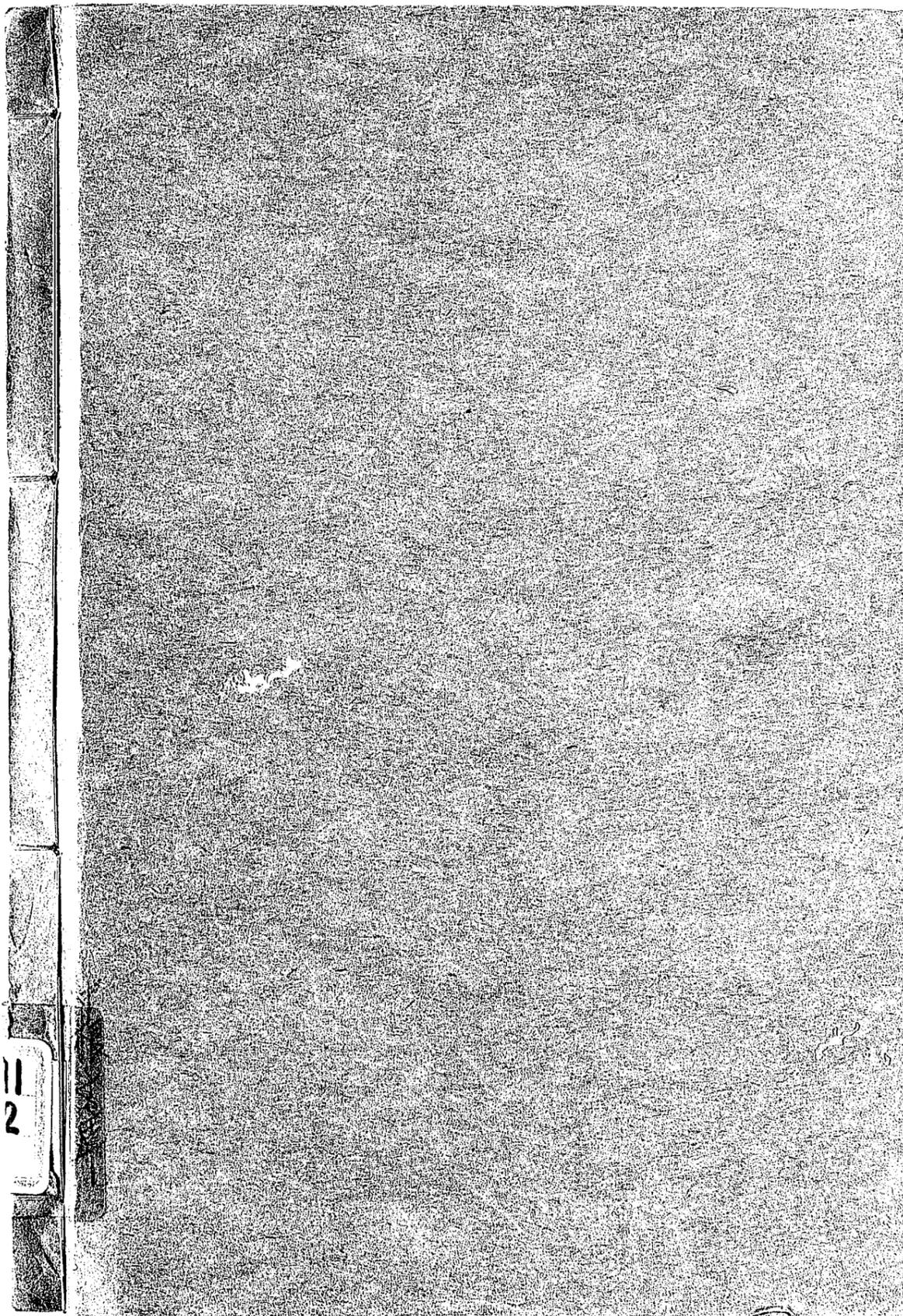
昭和七年六月十三日、始メ六月二十日ヨリ

熊野中根寺





8 9 県立串本古座高校所蔵 中根文庫 資料番号 03948 1 2 3 4 5 6 7 8 9 160 1 2 3 4 5 6 7 8 9



11
2